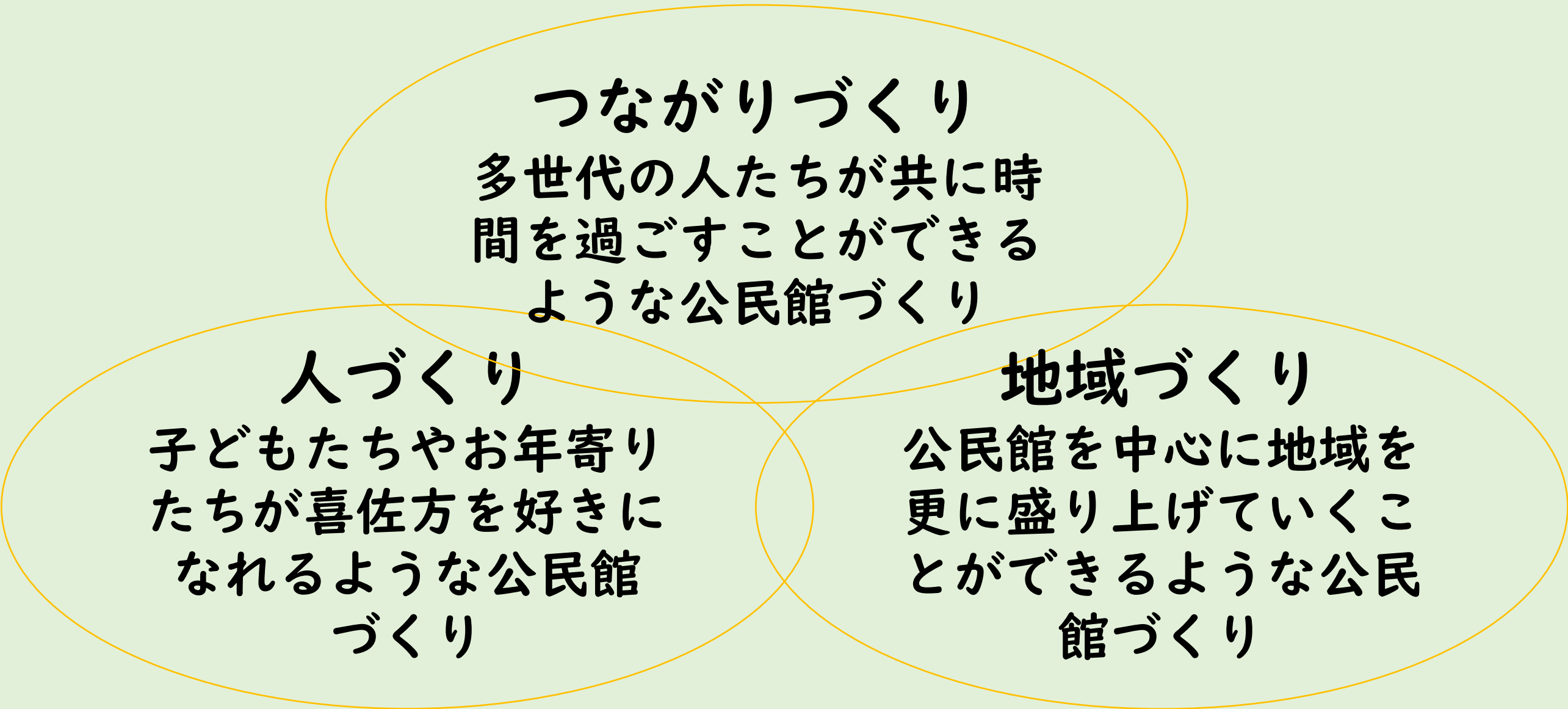


●目的

喜佐方公民館が改修されるにあたって、うわじま∞あいだいプロジェクトを通じて学んだ視点などを取り入れた理想の公民館像を提案することを目的としている。

グループ2では喜佐方公民館を拠点として、人づくり・つながりづくり・地域づくりの3つの視点を推進することのできる公民館の在り方を提案していきたい。



●私たちが目指す公民館像について

1 子どものあそび場

現状

- ・小学校廃止により、子どもの声が聞こえなくなる。
- ・公民館を利用する子どもがいない。

提案

- ・放課後に勉強したり遊んだりするスペース
- ・ハロウィンパーティーなどの季節のイベント
- ・オセロやボードゲーム、ドンジャラなどを用意



2 お年寄りのおしゃべりの場

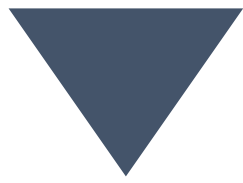
現状

- ・お年寄りは外出しない人も多い。

→同居家族との関わりをのみの生活に

提案

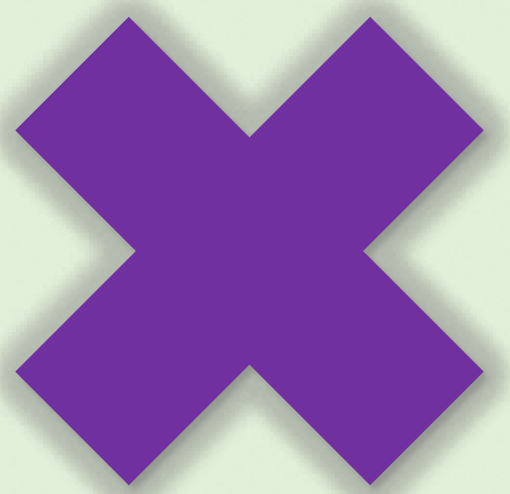
- ・お茶会などのおしゃべりスペース
- ・スポーツ観戦などみんなで盛り上げられる場



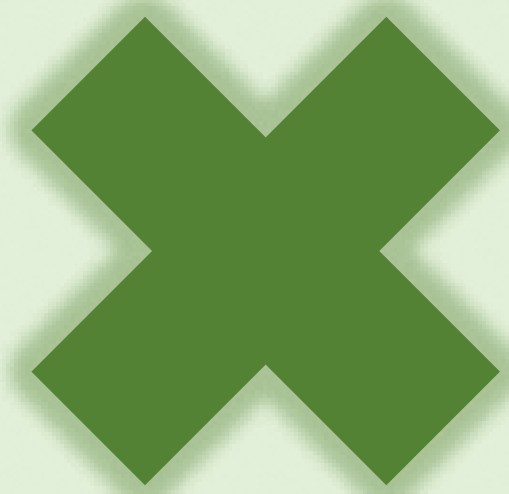
子ども時代に利用することで、大人になっても身近な場所に！

子どもたちの元気をもらっていつまでも健康な生活を！

世代を越えた憩いの場



子どもたちの居場所＋お年寄りの居場所
＝**お互いが気軽に立ち寄れる場**



3 世代を超えた交流の場

現状

- ・コロナ禍でイベントが中止、縮小され活気がない

提案

- ・家でいらなくなったものを景品とするビンゴ大会
- ・ゆるスポーツ（テーブルゲームなど常設的なもの）
- ・ペアスタンプラリー（子ども＆お年寄りのペア）

●このプロジェクトを通して

- ・喜佐方のことを知り、交流する中で喜佐方だけでなく、自分の住んでいる地域の過疎化などについても考えるきっかけとなった。学校の授業で過疎化や多世代交流、地域活性化について考えるきっかけはあったが、どこか他人事なところがあったので、直接交流して、現状を知り、自分事として考えられるようになった。これからもっと個人主義が進んでいくと思うが、その中でどうしたら地域の人たちと交流ができるか考え、対策しようと思った。今回の活動で地元の課題やその他の様々な物事について深く考えたり、自分の意見を積極的に共有していくことが大切だと思った。
- ・今回のプロジェクトを通して、喜佐方の色々な年齢層の人たちのことを知れたり、少子高齢化などの問題について大学生との交流で話し合い考えることができたので今後に活かしていきたい。
- ・プロジェクトを通して、喜佐方の過疎化、年齢層の関わりへの減少を知った。その問題で大学生や他の高校生との話し合いの中、世代交流について深く考えそれぞれの年齢層が関わるためにどうするべきかを考えることができた。私は自分の地域でも過疎化が進んでいると感じたことがあったので、今回のことを活かして自分の地域でも何かできればいいと考えた。
- ・喜佐方地区のことについてこれまであまり知らなかったが、プロジェクトを通して喜佐方地区について知れたり、地域の方々から直接意見や想いを聞くことによって、公民館の利活用について深く考え、意見をみんなで共有することができたりして良かった。今回の活動で地元の課題やその他の様々な物事について深く考えたり、自分の意見を積極的に共有していくことが大切だと思った。